

八戸学院大学ラグビー部

創部4年の快進撃



八戸学院大学ラグビー部は昨年初めて、東北地区大学リーグ1部に臨んだ。結果は全勝優勝で1位、続く北海道・東北地区代表決定戦は28・27で北海道大学に競り勝ち、第52回全国大学ラグビーフットボール選手権大会ファーストステージへと駒を進めた。

2012年の部発足からわずか4年での快進撃。その軌跡を工藤祐太郎監督・太田祐次郎主将に聞いた。

同部は2011年に創部したばかりの新鋭チームだ。その前年、男子1人、女子1人で愛好会を発足させたのが始まりだったが、翌年、部となったもののラグビー経験者はほとんどなかった。ラグビー未経験の学生を加えてチームを編成し、東北地区大学リーグ3部に加盟した。2年を過ごすうちに力をつけ、2年1部へ昇格。現在の部員はチームを牽引してきた4年6人、3年8人に加えて、2年9人、1年7人の20人、4人のメンバーが選手たちを支える。

6大学による形をのぞきリーグ1部で2番

印象に残っている試合として、工藤監督は東北学院大学との試合を挙げ、同大学は日産車という強豪。この相手に勝つたのは1試合はなかった。

その試合について、工藤監督は「部員は落ちついていて、あせりや緊張がなかった。それが一番印象に残っている。20分間、本当に落ちついてやっていたと思う」と振り返る。ゲームプラン通りに自分たちのペースで試合を進めることができた。相手チームを驚かす。チームとしての成長を感じさせる内容だった。

各地の練習は、とにかく休をつくる時間として、冬休み、1週間のうち4日は練習して、残り3日は試合の準備に充てる。その後もフットボールトレーニングを継続するが、別



18112012